



圓頓寺 たより

発行所
山鹿市山鹿55
圓頓寺
☎43-2424

第三十四世

順境院 日攝

年頭のご挨拶

合掌 新年明けましておめでとございます。昨年中

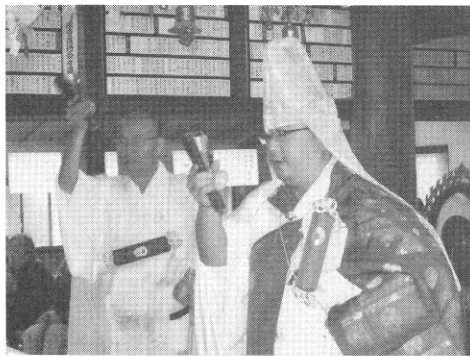


は、檀信徒並びに有縁の皆様方におかれましては、当山の護法護持に對しまして多くの御尽力を賜り、感謝申し上げます。本年も、どうぞ宜しくお願い申し上げます。さて、旧年度の世相を振り返りますと、例年にもまして、天地の定まらぬ一年であったように思われます。国情、人心も然り。

「天地は国の明鏡也」
『法蓮鈔』

日蓮大聖人のお言葉です。鎌倉ご在世中は、現代にもまして、天地の荒ぶる時代

でありました。自然災害はもとより、疫病、飢饉、内乱・外乱等あいまって、大変な世相でありました。このような国情を鑑みて、日蓮大聖人は「天地の様相は、国の有様を、ありのままに映し出す鏡である。」と看破されたのです。



三宝荒神大祭の住職と院首上人

地不定の時こそ、人々は、悪をなさず、正しき心を持ち、襟を正して、真の生活をなしていくべきなのです。また、天地は、災害をもたらず以上に、多くの恵をもたらします。天地の偉大さに畏敬と感謝の念をもって生きることは、法華経の精神に副うことにもなるのです。

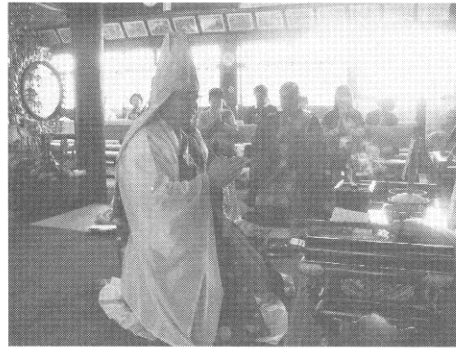
たとえ、いかなる環境にあつても、ひとりひとりが、境遇に左右されない安穩な心を培っていくことが出来れば、必然と天地の安定へと繋がります。各人の修養が肝要なのです。新年の四海静謐と皆様方の御多幸並びに益々の御精進を、改めて御題目にて祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。再拝。

法華經と御遺文の学習

「過去諸仏も、無量無数の方便・種類の因縁・譬論・言辞を以て、衆生の為に諸法を演説したもう。是の法も皆一仏乗故の為なり。」
『妙法蓮華經方便品第二』

方便品の一節です。概要は以下の内容になります。

過去の仏様たちも、また、お釈迦様もが、様々な方便・因縁・譬論・言辞を駆使して、誰もが解るようにと、沢山の經典を、お説きになった。このようにされたのは、全てが法華經をお説きになる為のものであつ



お盆お施餓鬼法要

たのです。

もう少し詳細に解説してみます。

過去からの沢山の仏様と同じように、お釈迦様は、多数の經典による法門をお示しになった。それは何故か。最高の法門である法

華經を説示する為であります。

いきなり、最高の教えを説かれても、聴衆は理解できないからです。ですから、簡単に理解しやすい方便の經典を数々にお示しになり、最終的に法華經へと導き入れる方法をとられたのです。

末法現在にても、多くの經典が存在していますが、法華經以外の經典は、全てが方便の教え、仮の教えであるということを認識し、經文の如く、お釈迦様の真意に副い、法華經こそが唯一で最高の法門であることを、信受することが肝要なのです。

方便の經典に拘泥してはなりません。法華經お題目こそが、唯一真実の教えであります。このことこそ、真の仏意なのです。

和食亭

栄太郎

TEL0968-43-8080

山鹿市山鹿郵便局となり



マルカメ醤油・味噌
灯笼シヨトシヨ

山鹿市中1000-2
☎44-3131

『随意御書』

「法華經と申すは随意と申して、仏の御心をとかせ給ふ。仏の御心はよぎ心なるゆへに、たといしらざる人もこの經をよみたてまつれば、利益はかりなし。麻の中によもぎ・つゝ(筒)の中にくちなは(蛇)・よぎ人にむつぶもの、なになけれど心もふるまひ(振舞)も言もなお(直)しくなるなり。法華經もかくのごとし。なにとなければども、この經を信じぬる人をば仏のよき物とをぼすなり。」

日蓮大聖人の御文章一節です。以下、現代語訳にな

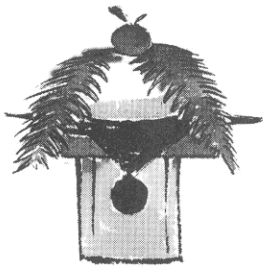


山鹿城主一族を供養する住職

ります。

法華經というお経は、随意といひまして、仏様の本意の御心をありのままに説かれたものであります。仏の御心は良き御心でありますので、たとえ深く意味が分からなくても、法華經を読むだけでも、利益は限りなく得られるのであります。例えるなら、麻の畠の中に自然に生じた蓬のよう

に、また筒の中へ入った蛇が自然にまっすぐになるように、良き人と仲良くなる、何とはなしに心も行ないも言葉づかいまで、素直に良くなつていくようなものであります。法華經もこれと同じで、何とはなしにこの經を信ずる人であつても、仏様は、この人が自然と良きものになると、常に思し召されるのであります。この御文章で大切なことは、素直な心を以つて信心さえすれば、自ずと、法華經お題目の大功徳を頂くことが出来るということです。



建設業
砂利採取販売業
コンクリート二次製品製造販売
有限会社 阿蘇品組

代表取締役 阿蘇品 豊

山鹿市中483
電話(0968)44-7815

電気設備工事設計施工

有限会社 中原電機商会

熊本県山鹿市栄町298
電話(0968)43-2087

年頭のご挨拶

護持会会長 栗原辰也



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

檀信徒の皆様方には、ご家族お揃いで良き新年をお迎えのことと存じます。旧年中は菩提寺興隆に、ご芳志、ご支援を賜りまして誠にありがたく、衷心より感謝を申し上げます。

毎年度、年間の六大法要を始め、恒例の寒修行、婦

人会、信行会、護持会、各種行事等に、会員として、輪番おとき・掃除当番としてご奉仕をいただき、前日の食材の準備から、当日の後片付けに至るまで快く賄われ、そのご苦勞に心から感謝をいたしておる次第であります。

また、護持会役員、各会世話人、納骨堂・墓地使用者の方々にはお盆前の合同大掃除、正月前の注連縄作り・合同大掃除と、大変ご苦勞いただいております。おかげさまで、年ごとに境内等も立派に整い、これも皆様方のお力添えの賜ものでございます。

昨年は、総本山・身延山「久遠寺」、七面山の団参を



大黒天祭で総代賞を贈る

計画実施され、福岡の『妙教寺』檀信徒の皆様方と共に、三十一名で祖師堂、奥の院・思親閣、御廟所、身延山大本堂での朝勤、二十名の方は七面山登詣、十一名の方は身延山周辺の本山寺院参拝、静岡市・海長寺、西伊豆町・大行寺で御開帳を受けたり、参拝をして、各々功德を積まれての無事帰山でございました。一年を顧みる中で、最近

くつ・はきもの専門店



やまが中町商店街
☎(0968)43-2282

お食事処



山鹿市花見坂330~13 ☎44-6435



お寺の行事に参加して

ひとつ気掛りなことがございます。そのことは、年間の六大法要時の「輪番おとぎ」の賄い当番の件でございます。各法要時のおとききの準備は、前日の午後には食材の準備、仕込み、味付け等を致され、当日に備えておられます。失礼なことではあります。現在前日の準備方は婦人会の方々で致されており。それぞれ高齢になられ、二日連続で

のご奉仕は、大変なご苦勞であろうと思ひます。出来ましたら、三月の護持会総会時にご相談申し上げるならばと、思案致している次第です。

檀信徒の皆様方には、これから寒さ厳しい季節を迎えます。健康に十分留意されまして、元氣でお暮らしいただきますようご祈念申し上げます。 合掌

護持会計 原文雄

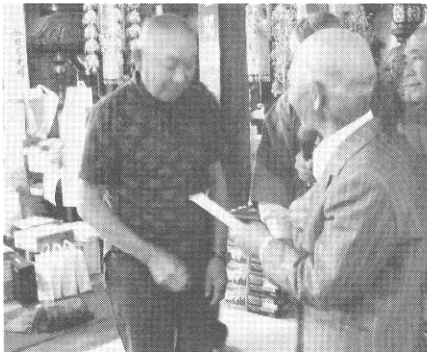
謹んで新年のお慶びを申し上げます。

檀信徒の皆様には、お健やかに新しき年をお迎えのことと存じます。

檀那寺「圓頓寺」では一月の初講法要から、十二月

の御先祖年末総供養と普賢三宝荒神大祭、お焚き上げ式まで六回の大法要が行われます。

その他婦人会、信行会の正月の新年祝禱会、一月の寒修行、二月三日の節分会、二月十六日の宗祖降誕会、六月二十三日の清正公頓写会、九月十二日の龍の口法難会、六・十二月の合同大掃除、十二月三十一日の除夜の鐘、毎月二十八日の月例信行会、護持会役員会・



原文雄賞を贈る

JA鹿本(株)鹿本広域福祉センター総合葬祭会館
やすらぎの里



天 寿 苑

〒861-0535 熊本県山鹿市南島1246(山鹿大橋そば)

TEL. 0968-44-0983

葬儀場・法事会館を併設した総合葬祭会館です



婦人会会長 瀬口ミス子

年頭のご挨拶

総会などもあり、一年に何回もお参りすることになり
ます。
六大法要の時の法話で、
講師のお上人様のお話を聞
くのも楽しみです。
私も昨年五月の総本山・
身延山「久遠寺」団参に参
加いたしました。今回で四
度目の参拝でしたが、何回
お参りしても頭が下がる思
いです。今回は七面山への

登山参拝でしたが、私は身
体の調子がすぐれず、登山
される二十名の方を、十一
名の方で登山の安全を祈つ
て見送り、身延山周辺の本
山や日蓮大聖人ゆかりの寺
院に参拝をいたしました。
七面山への参拝をされた檀
信徒の皆様、大変御苦労さ
までした。
本年も昨年同様色々な行
事が計画されています。皆

謹んで新年のお慶びを申
し上げ、檀信徒、婦人会の
皆様、ご家族のご健勝をお
祈り申し上げます。年間六
大法要「奉仕地区」の皆様
にはお忙しい中大変お世話
になりました、心より御礼
申し上げます。
昨年五月、妙教寺との合

様のご参加を心よりお待ち
しております。

会計担当といたしまして、
お檀家様方の護持会費納入
に御理解を賜り、各世話人
様の御尽力に心から感謝申
し上げます。

寒さがますます厳しくな
ります。身体に十分気をつ
けられ、良い新年をお過ご
し下さい。

南無妙法蓮華經

同団参で、身延山「久遠寺」、
七面山に参詣いたしました。
A・Bと二班に分かれ、私
は十一名でB班の日蓮大聖
人ゆかりの霊跡寺院参拝に
参りました。A班の七面山
登詣参拝された二十名の
方々は、翌日朝勤参拝で富
士山と御来光を拝すること

アシスト

ASSIST

株式会社 アシスト ニッセイ同和損保(株)・日本生命・大同生命(株) 代理店

〒862-0963 熊本市南区出仲間9丁目5-10.4F Tel.096-214-4771
Fax.096-214-4773 携帯090-2715-2274 <http://www.assist-kumamoto.jp>



一字一石写経する瀬口会長

が出来、写真を何枚も撮っておられ、幸がいつぱいとお見受けしました。私にはその機会はまだ一度もございませんで、七面山に登詣された方々を羨ましく思いました。

七面山で御来光を拝めませんでした。九州教区檀信徒研修道場に参加いたし、宮崎へ行きました。翌日旭日朝勤、「青島海岸」で六時四十五分頃、東方の海の水平線より真つ赤な御来光



信行会会長 木下美枝子

新年のご挨拶とご報告

最後になりましたが、圓

頓寺婦人会も高齢化が進み、会員も少なくなってきましたので、なにとぞご加入くださいますようお願い申し上げます。

本年も色々な法要・行事がございませので、ご協力賜われますようよろしく願い申し上げます、新年の御挨拶といたします。

南無妙法蓮華經

明けましておめでとございます。

圓頓寺檀信徒の皆様、お揃いで良き年をお迎えのこととお慶び申し上げます。年ごとに一年が猛スピードで過ぎていく感じがいたします。もっとゆっくりと、おだやかに暮らしていきたいと思っておりますが……

有限会社 盛文社印刷

山鹿市下町1807
TEL 0968-43-2604
FAX 0968-43-6075

生活環境に、やさしい企業

水廻りの事ならすべてOK!

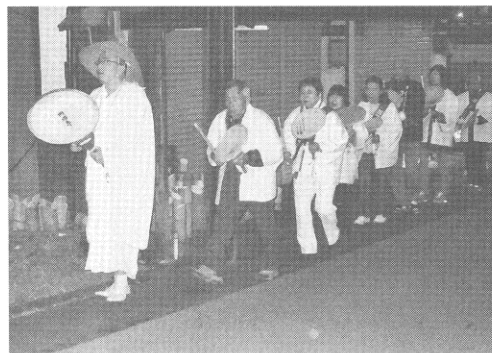
TORAYA  SHOKAI

合資会社 **とらや商会**

TEL(0968) 43-2212 FAX(0968) 44-5990
〒861-0532 熊本県山鹿市鹿校通一丁目3番29号

圓頓寺六大法要、夏と暮の大掃除、本妙寺頓写会、県の護法大会、除夜の鐘、大寒の日よりの寒修行会、それに婦人会行事の圓頓寺清正公頓写会、龍の口法難会、節分会、降誕会とあらためて一年を振り返ると、手を合せる機会を、道を多く作っていただいているようです。

七月には本妙寺で管区研修道場、九月に熊本青年会（日蓮宗の若いお上人様方の会）主催の信行の会、秋に九州中の信徒が集う教区研修道場があります。この研修は、私たち信徒のためにお忙しい中を時間を作ってください、法話や教え等を説いてくださいます。分からないこと、知らなかったことを思いつかせてくださる大切な時が、研修と思



寒修行の木下さん（左から三人目）

います。右の耳から入って左の耳へ抜けることが多くなった私ですが、ハツと思ったり、感動する。そのことは他に説明はできなくとも、人に教えてあげることができなくても、自分の胸の中、頭の片隅に止める財として、道を開けてくれると思っっています。年と共に、それなりの身体の不都合もあり、人並み以上に物忘れもひどく、自分であき

れることが度々ですが、研修となると二つ返事で行きたくなり、歩くことはまだ大丈夫だからと参加させていただきます。

昨年（本妙寺）研修、教区の研修（宮崎、今年度の管区は福岡です）。このふたつの研修には、婦人会のいつものメンバーで参加して、勉強させていただきました。熊本県の青年会主催による、九月十、十一日に長崎の寺院めぐりツアーでしたが、十二日が龍の口法難会になっていましたので、他の皆さんたちは遠慮されました。私は勝手ですが一人参加で詣りしてきました。熊本市民会館前八時出発、高速道路を走りながら、途中トイレタイムをとりながら、佐世保市の本興寺にいったのは十一時でし



拜む心で尊い品を

梅谷佛具店



仏壇・仏具・寺院用具
寺院納骨堂設計施工

本店

〒812-0027 福岡市博多区下川端町10-9
TEL (092)271-0456・FAX (092)271-0464

支店

〒819-0373 福岡市西区周船寺3-9-4
TEL (092)806-7499・FAX (092)807-1079

◆E-mail umetani@umetani-jp.com

◆HP <http://www.umeyani-jp.com>

た。お寺？という感じでした。建物の横の方から外階段を上がって二階が本堂、鉄筋作りの三階建、広々とした本堂、奥と三階が庫裡？という様子。前住職様は、大荒行を三〇回修行。荒行堂で指導的立場の方で、今年十七回忌の法要をしたとのことでした。実物大よりも大きなお姿を額におまつりしてありましたが、何事も見抜くような眼光鋭い顔でしたが、とても情篤いやさしいお上人で、人望が厚く今でも、多くのお上人さん方のお詣りに来られるとのことでした。

本堂に大きな大黒様座像が安置されていましたが、窓があったところに据えてしまったので、本堂内が暗くなつたし、風もいらぬ、重さが一トンあることので

階の幼稚園の戸が、一か所開かなくなつたとのことですが、でも大黒様のあの笑顔、心豊かにお詣りさせていただきました。



初講法要で供膳奉納(中)

次のお寺、萬歳山本経寺、清正公ゆかりの妙法蓮華經五ヶ寺のひとつのお寺。

キリシタン信仰の大村藩の名君が、キリシタン禁止令によりさんざん苦しみながら、清正公の友情で当時の日真上人、日恵上人を迎えて、大村法華の中心となるお寺を作られました。大村藩の菩提寺として栄えたお寺になり、日蓮大聖人の御真筆や貴重な美術品、佛像等もあり、大切な文化財となつています。広々とした敷地、大きな本堂、境内にあるお墓の規模の大きさ、歴代の藩主、奥方、側室、家老のお墓、説明される時間が足りぬ程の物語があり、一基づつのお墓の大きさもものすごい、始めて見たという感じでした。その広い敷地も墓所も、きれいに手入れされていて感心いたしました。草も木の葉も見当たりませんでした。

このように、研修とか青年会のお上人様が案内して下さる旅は、知らないこと、分からないこと、平気でしていた間違つたことを正す、

航空券・JR・個人旅行・団体旅行

株式会社 **ワールド観光**

TEL 0968-72-5656

玉名市中尾426-3

親を背中に負いながら身延山へ参拝され孝養を尽くされた。その後、子や孫が仁蔵の意志を引き継ぎ、「父母の菩提弔う」丹誠によって築造されたと伝えられ、この二八七段の石段を、上りきれば涅槃に達すると云われている。まさに、菩提を弔う供養心によって、苦難

お会式法要

十月十三日、日蓮大聖人の御祥当の御会式大法要が厳修されました。ちょうどこの日は大型台風十九号の最接近に重なり、法要が無事に営まれるのか、大変心配でありましたが、法要中・法要前後も、風雨もそれ程でもなく、つつがなく法要をこなすことが出来ましたこと、感謝感激の思いひ

を乗り越えて築造され、大いなる積功累徳の追善の功德の表れが、平成の今日まで伝えられています。と『追善菩提』の実践のころを心と受け止めて、参詣の皆さんは、信行を深めていました。

(順境院日撮)

としおでありました。

御法話には、日蓮宗靈断師会本部より、一日伝道講

河野僧正の法話



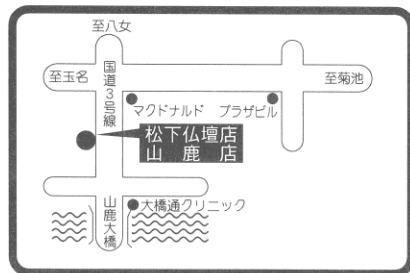
師として、大分県親敬寺御住職「河野全厚」僧正が御来山いただきました。現代の末法の混迷する世相を、法華経の経文と日蓮大聖人の御遺文の御言葉とを、縦横無尽にちりばめて、的確に説示され、聴衆の方々の信仰増進の大いなる因となる御説教でした。

(順境院日撮)

●仏具のご注文がございましたら、多少にかかわらず配達いたします

仏壇・仏具専門店
まつした
株式会社 松下仏壇店

- 大牟田本店**
大牟田市上町2丁目2 上官通り
☎0944-56-3675
- 熊本店**
熊本市中央区上水前寺1-12-12 (東バイパス熊工前)
☎096-384-5666
- 玉名店**
玉名市平畑1832 玉名高校入口
☎09687-4-4840
- 山鹿店**
山鹿市大橋通り404
☎0968-43-5665



御先祖年末総供養 普賢三宝荒神大祭



年末総供養受付風景

数日前からこの冬一番の冷え込みとなり、大雪などの影響で凍死した人や、停電も重なり五、六日間孤立した集落が出たほど寒さが厳しくなった十二月八日、御先祖年末総供養と普賢三宝荒神大祭、三宝荒神札・

古いお守り・お札等のお焚き上げ式が行われました。

御先祖年末総供養では、住職・英人上人を導師に三名のお上人様のご出仕により奉修されました。半鐘が打ち鳴らされた後、大太鼓と檀信徒の『南無妙法蓮華經』の唱題で式衆三名を迎えました。英人上人が御宝前を清め導師席に着座、道場偈・開経偈、方便品と読経が進み、年末回向で総供養が終了し、十分間ほど休憩をはさんで法話がありました。法話は、多良木町、延寿寺副住職「松本裕顕」上人にいただきました。松本上

人は、お題目三唱、自己紹介の後、「御先祖年末総供養の法要は素晴らしい行事、平日にもかかわらず多数お参りいただいたことは、素晴らしい」と話され、法話に移られました。

松本上人の法話



法話の中ほどで、「久遠実成の釈尊」「法華経」「われら衆生」と書かれた用紙を演台に並べられ、久遠実成の釈尊（元々悟りをひらいていて仏となつていられるお釈迦様）と、法華経と、われら衆生（私たちみんな）は

この街と生きていく face to face

熊本第一信用金庫 山鹿支店

〒861-0501 熊本県山鹿市山鹿1616-7

TEL 0968-44-4125

同じ。と日蓮大聖人は述べておられる。私たち参詣者みんなでお題目を唱えたら、久遠実成の釈尊と同等のお題目を唱えることが出来る。私たちの命とお釈迦様の命は同じ。と日蓮大聖人は説きあかされた。この考えを頭に入れて「南無妙法蓮華経」と唱えることが、私たち日蓮大聖人の弟子がなすべき一番大事なこと。と話されたことが心に響き、記

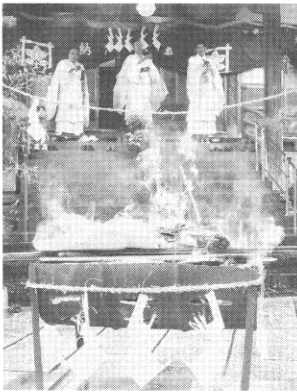


松本上人の法話を聴く参詣者

憶に残りました。編集子には難しい内容でしたが、法話中笑い声が度々もれるなど、ユーモアあふれた法話でした。

続いて、普賢三宝荒神大祭、お焚き上げ式も半鐘を合図に、大太鼓と檀信徒の『南無妙法蓮華経』のお題目で導師の英人上人ら五名のお上人を迎え行なわれしました。荒神大祭ではお上人により、御宝前の三方に安置された「三宝荒神札」が清められ、読経が続ぎ、次いで院首英知上人と秋吉上

三上人によるお焚き上げ祈禱



人、福山上人により、山と積まれたお札のお焚き上げ式の木剣がきられ、火がつけられ、供養が行われました。

御先祖年末総供養と普賢三宝荒神大祭、お焚き上げ

質問箱・その十

葬儀・告別式

入院していたお父さんが亡くなったQさん。仮通夜・通夜を済ませ、葬儀を迎え住職に分からないことを聞いています。

Qさん

葬儀・告別式で言いますが、違いが分かりません。

住職

葬儀は、故人を心安らかに

式が厳かに終わり、英人上人の挨拶の後、参詣の檀信徒は会館へ移動し、婦人会員、当番地区の方々で作られた心のこもったお斎をいただかれました。

(編集委員・谷)

に霊山浄土に送る厳粛な宗教上の儀式で、以前は遺族や近親者、特に親しかった人たちだけで行われていましたが、この頃では会社や趣味を通じての知りあいなど、故人と関わりのある方たちも参列されます

Qさん

そうですね、私も会社の上司や同僚の親御さんや奥さん、趣味を通じての知りあいの通夜や葬儀に参列し

ます。しかし、引き続いて
営まれる告別式はどんなも
のですか。

住職

告別式とは、明治時代に
つくられた言葉で、宗教儀
礼の意味を含まない「最後
のお別れの式」のことでし
たが、今では、葬儀に引き
続いて一般会葬者のために
焼香の時間を設けることを、
告別式と言うようになりま
した。

Qさん

告別式とは、元々は宗教
儀礼の意味を含まないもの
なんです。

住職

そうですね。正式には葬
儀と告別式は別にとり行う
ものですが、いまでは一緒
に済ませることがほとんど
になりました。

Qさん

通夜・葬儀の際に私たち
は準喪服（略礼服）を着ま
すが、子供の服装はどうし
たらいいでしょうか。

住職

子供さんは、学校の制服
がある場合はそれでいいで
しょう。無い場合は派手な
服にならないよう心がけま
しょう。

Qさん

父の火葬許可書では午前
九時となっておりますので、
午後一時の葬儀の前に出棺
火葬になります。葬儀の後
に出棺される場合もありま
すが、どちらが正しいでしょ
うか。

住職

葬儀・告別式が終わって
会葬された方々の見送りを
受けて出棺されるのが望ま
しいと思いますが、その土
地の地域性や歴史性、火葬

場の都合などで葬儀前に出
棺、火葬される事も多々あ
ると思います。

Qさん

出棺の時は、花や思い出
の品などを入れますが、大
切な儀式ですね。

住職

そうですね。棺の蓋をあ
けて最後のお別れです。最
後の対面は家族、親族や親
しい人が行います。蓋があ
けられたら、一膳飯をいれ、
葬儀社が準備した生花の花
の部分で故人の回りを埋め
るように飾ります。この花
を「別れ花」と言います。

Qさん

父が愛用していたものも
棺に入れたいと思います。

住職

お父さんが愛用されたも
のや思い出の品、お孫さん
のお別れの言葉などを霊山
浄土に持たせることもいい

セレモニーホール

宮川葬祭 TEL (0968) 43-2211

フリーダイヤル 0120-45-0948 よい れいぎゅうしゃ

山鹿
天龍会館

TEL (0968) 44-0444

ことです。

Qさん

葬儀の際司会の方が、『〇〇齋場に於いて、茶毘にふされました』と言いますが、茶毘とは何ですか。

住職

茶毘とは、火葬することです。



Qさん

霊前に置かれてある白木の位牌には、『〇〇院□□日☆信士霊位』と墨書されていましたが、決まりがあるのでしょうか。

住職

法号は、仏の弟子としての名前であり、戒名・法名とも言います。本来は生前に受けておくべきものですが、今は、故人になって始めて

法号を授与されることが多くなりました。

Qさん

法号は生きているうちに受けておくものですか。

住職

はい、私も平成十四年の大荒行初行入行を前に、師である「順信院日薫上人」から、「順境院英人日攝」という法号をいただきました。日蓮宗の檀信徒なら出来るだけ生前に法号を受けておいてほしいと思いますので、お寺にご相談下さい。

Qさん

法号の意味はどういうものなのでしょうか

住職

〇〇院は印号で、古くは貴人のみにつけられていました。住んでいた庵とか室の名称のことです。□□は道号で仏道にいった者であ

ることを称する号です。日

☆は本来の法号で、日蓮大聖人に因み、一字は故人の俗名からとることが多いです。信士は位号で、年齢や性別、信仰の篤さなどによっておつけします。霊位は、位牌を総称する言葉です。

Qさん

□□、日☆には、それぞれ父の一字が使用されましたが。

住職

ハイ、□□、日☆には、故人の名前の一字をつけるように心がけています。

Qさん

今は白木の位牌ですが、このままでもいいのでしょうか。

住職

白木の位牌は七七忌法要までに塗りのご位牌に置き換えて下さい。



お題目からはじまる。

ビル新築工事から増改築まで何でも致します
住宅金融公庫其他手続代行

有限会社 **井上組**

井上 勝 介

熊本県山鹿市下吉田691番地

TEL. 43-2204

朝日新聞
山鹿専売所

山鹿市上広町344の7

☎ 43-2664

藤本 俊 範

Qさん
白木の位牌はどうしたらいいでしょうか。

住職

白木の位牌はお寺にお返しく下さい。お寺で供養をいたします。

Qさん

先ほど七七忌法要と言われましたが、父が亡くなった日も含めて七日目の初七日、五七日(三十五日)、七七日(四十九日)など法事がありますね。

住職

法事とは、もともと仏教の行為や修行を意味したものが、仏教行事となり、さらには追善のことを意味するようになりました。

Qさん

追善とはどういうものでしょうか。

住職

追善とは、亡くなった方が霊山浄土へ無事往詣し、幸せになれるように、生者が善い行いを後から追って行うことを意味しています。

Qさん

法事とは、追善供養すること、私たちが亡くなった父のことを、死後も霊山浄土で幸せになれるように祈ることですね。

住職

そうですね、追善の日は初七日から始まり、七日ごとにお参りにまいります。七七日(四十九日)で一応の区切りとなります。

Qさん

法事は、他に一周忌、三回忌法要などがありますね。

住職

ハイ、亡くなった日を偲ぶ日として、百箇日、亡く

大小宴会・会食

横手会館

山鹿市九日町(八千代座前)

割烹よこて

肥後銀行前 TEL. 43-7500

祝儀・仏事・会席・鉢盛・折詰

横手仕出し

TEL. (0968) 43-2206

毎度ありがとうございます

米・肥料・農薬・たばこ
(全商品配達致します)

(有)あそしな米穀店

代表取締役 阿蘇品 和彦
☎ (0968) 43-2526
無料電話 0120-23-2526
山鹿市大宮町641-2

熊本日口新聞

(有)熊日山鹿南販売センター

山鹿市大宮町439

阿蘇品 雅彦

社会福祉法人 大道福祉会

若葉保育園

理事長 阿蘇品 洋介
園長

なられた翌年が一周忌、二年目が三回忌で、七回忌、十三回忌、十七回忌、三十回忌、五十回忌などがあります。それぞれの土地の習慣に習って、きちんとつとめていただきたいと思います。

Qさん

父の遺骨は、しばらくは家の仏壇に置いて、毎日お参りしたいと思いますが、いつ納骨したらいいでしょうか。

住職

お父さんをしばらくは仏壇に置いて、毎日お参りして供養されることは、いいことです。納骨は、七七(四十九日)法要の後、される方が多いようです。

Qさん

七七(四十九日)に納骨するのには、何か意味が

あるのでしょうか。

住職

四十九日というのは、中有、中陰などともいい、人が亡くなった瞬間から、次の世に生を受けるまでが四十九日かかることを意味しています。この期間は忌中といい、七日ごとに供養を行います。四十九日を満中陰といい、特に丁寧におつとめます。その日に納骨される方が多いようです。翌日が忌明けで、喪に服していた遺族が日常生活に戻る日、という意味です。

(注) 編集子が父を亡くしたときの体験を基に、「日蓮宗のしきたりと心得」、その他文献を参照して編集し、住職に監修していただきました。

婚礼・着付

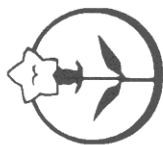
サンロード大住

山鹿市古閑 1286-3

☎ 44-6277

歴史と文化の街 日本一の装飾古墳と八千代座

山鹿温泉

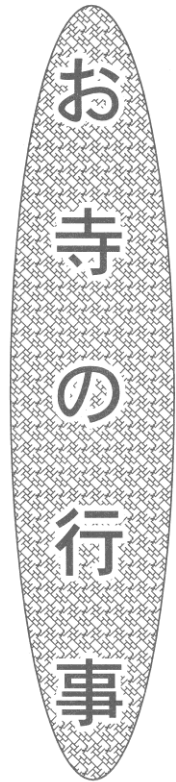


清流荘 鹿門亭

〒861-0501 熊本県山鹿市下町1768

電話 山鹿 (0968) 43-2101(代)

ファックス (0968) 43-5153



一月十三日(火)

日蓮大聖人報恩
午前十時

初講法要

宗祖日蓮大聖人の正月の初御命日に講をおこして、御入滅をしのび、報恩のお祈りをささげる聖日です。

二月三日(火) 午前十時

開運 節分析禱会

除災招福・星祭祈禱

一月二十日

九日間・夜七時
日蓮大聖人報恩

大寒・寒修行

毎夜七時から山鹿市内を巡回します。お上人と共に修行しましょう。出来ない方はご供養しましょう。

二月十六日(月) 午前十時

宗祖降誕会

御誕生をお祝する日

三月二十八日(土) 午前十時

鬼子母神祭 彼岸会法要

百日間の大荒行を成満した、荒行僧の秘法除災除厄祈禱が行われています。星祭の●星の方は、特に除厄祈禱を受けてさらに開運招福を倍増増進ください。彼岸で、特にお塔婆をたてて御先祖をご供養する日です。ご供養しましょう。

六月二十三日(火) 午前十時

清正公・頓写会

御入滅を偲ぶ日

立教改宗会 七五〇年法要 春の大黒まつり

五月三日(祝日) 午前十時

日蓮大聖人さまが、日蓮宗を改宗されたことを「立教改宗」といいます。私共日蓮宗徒にとって一番大切な法要です。家族そろってお詣りしましょう。

大黒まつりは、福(天よりの助け)・録(財)・寿(長寿)の三徳与えられ、衣食住に恵まれる寿福と安穩樂を授かるおまつりです。

当日は、洩れなく開運福引を致します。尚、特別賞のご提供をお願い致します。

輪番おとぎ、掃除当番地区表

本年度の輪番おとぎ、掃除当番地区は次の通りです。
該当々番地区の皆様のご支援と御協力をお願い申し上げます。

山鹿市								鹿本町				市町名
靈仙	志々岐	鹿校通	熊入町	大宮町	堀明町	小柳	来民	来民	来民	来民	町名	
西川	坂梨	高松	塚本フ	阿蘇品	阿蘇品	永溝	黒田	西山	白石	福山	地区総代名	
信子	益樹	進次	英治	弘二	欣友	法子	征夫	啓一郎	欽四	年春	人員	
11	6	7	5	8	7	8	1	3	1	7	4	

3月28日(土) 鬼子母神祭

山鹿市				鹿本町		鹿北町				市町名	
小原	桜町	桜町	中村	東通	庄	多	芋生	市木	須屋	小川	町名
大津山	荒木	松本	鬼木	原口	芹川	鶴川	中島	山本	黒田	藤本	地区総代名
藤子	光子	哲雄	次郎	利治	蒼生	哲夫	義直	文繁	光明	健吾	人員
5	4	3	3	16	5	10	1	4	3	1	13

1月13日(火) 初講会

山鹿市								和水町			市町名
大宮通	平小城	温泉通	中	花見坂	温泉	上広町	栄町	大橋通	太田黒	岩	町名
単独配布	井上	川本	瀬口	単独	藤本	中原	古閑	古閑	中畑	徳永	地区総代名
7	7	9	2	2	1	4	5	10	4	4	3

7月29日(水) 施餓鬼会

6月 合同大掃除
世話人役員
檀信徒合同奉仕

山鹿市				鹿本町		鹿北町		植木町		市町名	
婦人会	長坂	宮宛	石	日吉	松坂	栗林	原町	下野	岩原	寺米	町名
星上	井上	山下	坂本	島田	単独	谷梨	原	栗原	丸山	前田	地区総代名
和寿	勝介	二子	憲二	賀子	配布	良美	文雄	秀夫	博士	洋子	人員
30	2	2	2	4	6	4	3	2	5	4	1

5月3日(祝日) 大黒天祭

12月 合同大掃除												市町名
栗林	桜町	桜町	八之峰	久原	古閑	方保田	藤井	石	石	杉	町名	
単独	伊藤	清島	城田	小田	野満	永木	石村	池田	前田	池田	地区総代名	
6	3	1	4	1	5	2	2	2	7	5	6	

12月8日(火) 荒神大祭

南関町		和水町		山鹿市						菊鹿町		鹿本町		市町名							
上坂	江田	久米	下津	西上	上町	九日	下町	上	鹿校	鹿校	鹿校	鹿校	古閑	山の	山の	郷の	三井	上高	中川	町名	
上田	上村	川原	坂梨	井上	中原	吉田	尾石	緒方	単独	単独	単独	単独	古閑	鶴川	長野	古家	栗原	吉里	石原	中島	地区総代名
3	3	5	3	3	4	10	6	3	4	5	4	4	3	7	5	2	6	1	1	2	2

10月13日(火) 御会式法要

平成十七年度～平成三十四年度

りっしょうあんこく

立正安国 ●

だいもくけちえん

お題目結縁運動

日蓮宗

発行所

山鹿城趾
湯の町てら

常明山 圓頓寺

熊本県山鹿市山鹿温泉五五

☎ 四三二四二四代

☎ 四四一五一〇〇

FAX・四三二七二二八

電子メール:a0115@orange.ocn.ne.jp

ホームページ:www.entonji.jp

非売品

編集・圓頓寺たより編集委員会

印刷所

山鹿市下町一八〇七

有限会社

盛文社印刷

☎ 四三二二六〇四

FAX・四三一六〇七五

メール:info-seibunsha@hyper.ocn.ne.jp